

人権尊重と取引適正化に向けた取り組み

2023年10月16日

一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会

人権尊重と取引適正化に向けた取り組み

人権尊重の課題への取り組み

■ 発注者としての責任

- 2018年、外国人技能実習生に対する不当な扱いを行った工場と、その工場への発注元の責任が社会問題化
- 工場等との直接取引だけでなく、間接取引であっても社会的責任がある

■ 工場監査

- 委託先の工場等において、人権尊重とリスク発見時の対処が行われているか監査が必要
- 2019年、「CSR工場監査 要求事項」を策定

■ 繊維産業における責任ある企業行動ガイドラインの周知

- 2022年11月、日本繊維産業連盟が策定したガイドラインの経営者向け説明会を開催

取引適正化の課題への取り組み

■ 取引ガイドライン

- 繊維産業流通構造改革推進協議会のTAプロジェクトに参画し、2004年に「取引ガイドライン」を策定
- アパレル企業と生地メーカーや縫製工場との契約書の取り交わし、取引適正化の取り組みを推進

■ 国内工場の構造改革（別添資料）

- 工賃を上げるため、高い技術に裏付けされた逸品をつくり、消費者に商品価値について理解を得ることが必要
- 川上から川下まで、素材・工場・アパレル・小売りが一丸となり、日本のモノづくりを世界にアピールが必要

別添資料

(株)KASHIYAMA SAGA 改革について

KASHIYAMA SAGAの課題

工 賃

- ・多量生産・低工賃
- ・閑散期の工場未稼働（稼働時は低工賃）
- ・苦手アイテムの縫製（ブラウス・ボトムス）
- ・相手先のスケジュール都合による納期対応

人 財

- ・高齢化による水揚げ数減
- ・祝日出勤・残業
- ・若い世代のリクルート
- ・コロナ禍により経営悪化

匠の技で高品質を誇る、オンワードグループのフラッグシップファクトリー

高い縫製力を世界に発信
Made In Japanの
伝統とプライドを



■ 半世紀にわたる歴史の中で蓄積したメンズ技術のノウハウと
くせ処理するアイロンワーク、そしてホフマンプレスを持つレディース工場

- 高級婦人服を中心にジャケット・コート・ワンピース・ベストなど上物を中心としたアイテムを製造している。
- 縫製技術の魅力からOEM・ODMで世界的な有名ブランドの生産を手掛けている。
- SDGSの観点から2022年よりカスタマイズ生産をスタートした。

量産縫製ライン

- 縫製工場の本丸で技術が集約されている重要な現場
- 3ライン構成でオンワード、他社で分けて稼働させている
- 縫製オペレーターがアイロン作業も行い責任を持っている
- アイロンで生地を歪ませるクセ処理を重要視し
美しいフォルムを構築し、機能性も高めている
- 電源コードが上にあるのは、多様なアイテムに対応し、
マシン配置変更をしやすくするための工夫

特殊マシン

- ポケットシーマー : 玉縁ポケットを創る自動機
- ハンドステッチマシン : 次ページ参照
- 釦ホールマシン : 釦穴を開ける細巾な自動機
- カンヌキマシン : ポケット端、釦ホール端の補強自動機
- メローロックマシン : ブラウスなどに使う細巾縁かがりマシン



仕上げプレス

- ホフマンと手アイロンの併用で丁寧に仕上げている
- ホフマンはプレス機メーカーの名前で総称している
- レディース工場でプレス機使用は珍しく、
昔、メンズ工場であった遺産のひとつと言える



生地試験

- 生産前に生地試験を行い物性データを確認する
- 品質を守るために生地データに合わせた縫製をする高度な技術レベル

スポンジングマシン

- 巻いた状態の生地を熱と蒸気でリラックスさせることが目的で
品質を守るための重要な工程



スポンジング後の生地エイジング

- 紙製の専用箱で生地をじっくり寝かせる
- 空気中の湿度に馴染ませ最も良い状態に戻す
- 品質を守るために手間と暇をかけている



■ 高い技術力を活かし高付加価値の商材をハイクオリティーで縫製

- 閑散期投入などによる低工賃の概念を廃止。
- 量を追うことから、1点1点の価値を追い、お客様のニーズに可能な限り対応していく。
- 適正工賃での運営＝少ロット、難素材、難デザインでも対応する工場。

■ 世界に誇る日本のものづくりを継承するため、新卒採用をスタート

カシヤマSAGAが見据えるのは50年、100年先の未来

- 永続的な発展をめざすためにも次世代に技術を継承。
- メイド・イン・ジャパンのものづくりを世界に強く発信したいと新卒採用を本格的にスタート。
- ホームページの開設・求人サイトへの登録・武雄市ハローワークとの連動、佐賀県あさひ学園と協力し継続的な新卒採用を実行。
- 評価制度を大きく見直しやりがいのある職場へ改革（初任給162,000円に変更し地域内同一職種15位から2位へ変更）
- 外国人技能実習生（ベトナム）は一定の人数を確保しつつ、日本人の採用を強化しモノづくりを継承する

■ 職場環境

社員の働きやすい環境（縫製技術がアップできる）

- ・設備の整った新社屋 → ストレスない導線・LED証明・空調完備・新しい設備（CAD・CAM・ミシン）
- ・敷地内にある駐車場
- ・外国人実習生用の社員寮（敷地内）
- ・タイムカード導入し勤怠管理がしっかりできている（残業代の支払い徹底）
- ・NO残業デーの週2日実施
- ・土日は完全休業
- ・社員へのユニフォーム支給（エプロン・Tシャツ・白衣）

外国人実習生寮

- 外国人実習生のチカラを借りながら効率的な運営をしている
- 50名まで人居できる清潔な住まい



■ 地域貢献

佐賀県武雄市役所と連携

佐賀県武雄市と佐賀県武雄市と「災害時における指定緊急避難場所としての使用に関する協定」を締結し災害時の車両避難場所として無償で提供している。

今後はふるさと納税商品を提供し地域貢献をすすめる。



「災害時における指定緊急避難場所（車両避難場所）としての使用に関する協定」を締結しました

5月20日、株式会社KASHIYAMA SAGA様、株式会社武雄ゴルフ倶楽部様、社会福祉法人ナイスランド北方様と「災害時における指定緊急避難場所（車両避難場所）としての使用に関する協定」を締結しました。

この協定は災害により甚大な被害が発生または発生する恐れがある場合に、事業者様が保有されている駐車場を車両避難場所として無償で提供していただくものです。

今後も、市民の皆さまの生命・財産を守るため、安心して避難できる環境整備を進めてまいります。関連P3～4⇒

工場の強みを生かし、さらなる改革へ

■ 営業活動

2021年 (株)オンワードHDと(株)サンマリノが業務提携し、翌年から3社で営業強化。

■ 工賃改革

※ 工賃推移 2019年を1.0とした指数

	2019	2020	2021	2022	2023
平均 工賃	1.0	0.79	0.85	1.19	1.47

2024	2025	2026
1.50	1.50	1.50

2024年に適正工賃化とする。
情勢により価格は変動していく。

■ 人材(リクルート)改革

	2019	2020	2021	2022	2023
平均年齢	49才	52才	53才	54才	51才
工場 総人員数	135名	129名 (▲6)	89名 (▲30)	91名 (+2)	105名 (+14)
外国人 実習数	34名	39名 (+5)	28名 (▲11)	8名 (▲20)	17名 (+9)
日本人 増減数		▲11名	▲19名	+22名	+5名

2024	2025	2030
48才	46才	42才
115名	125名	150名
20名	20名	20名
95名	105名	125名

(日本人)
定年退職者 毎年平均5名
新規採用 毎年平均15名

<https://www.kashiyama-saga.co.jp/>

※本資料のお取合せは、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会にご連絡ください。